

（仮称）新ふくおか小学校の基本コンセプト

中津川市教育委員会は、ふくおか地区の学校規模適正化について長い時間をかけて地域と共に議論してきました。その成果として、田瀬小学校、下野小学校、福岡小学校、高山小学校の4校をひとつに統合し、（仮称）新ふくおか小学校を福岡中学校と隣接した曙の場に、市の教育方針「よりよいひとりだち 生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成」のため、義務教育期間を小中学生がともに学べる場所で新しい小学校を整備します。

ふくおか地区の未来を担う児童を育み、良好な学習環境を整備するため、基本コンセプトを次のとおりとします。

1 基本的な考え方

（1）整備目標

令和5年に統合し新校として開校する、（仮称）新ふくおか小学校は、統合準備委員会で選定された「**ふるさとを愛する子、やさしく かしこく たくましく**」を新校の学校教育目標に掲げ、この教育目標の実現に寄与する教育環境づくりを目指します。

（2）学校施設整備の考え方

小学校を整備するに当たっては、その設計において「小学校設置基準」「小学校施設整備指針（文部科学省大臣官房文教施設企画部策定 平成31年3月改訂版）」に掲げる事項に留意するとともに、以下の整備方針が実現するよう努めるものとする。

次の3つを建築計画における留意事項として事業をすすめます。

- ・学校施設を実際に使用する児童や教職員の視点を第一に考えた整備をする。
- ・複雑な構造や華美な装飾を避け、シンプルで実用的な安心で安全な施設を整備する。
- ・地元の素材（木材等）を積極的に使用して基本構造を木造校舎として整備する。

2 整備方針

1) 前提条件

- ・敷地は、福岡中学校に隣接した市有地（郷土資料館等、曙橋松林公園内）とする。建設地の既存施設は、解体を予定している。福岡中学校のテニスコート（2面）は、校地の南にあるゲートボール場を改修して代替とすることとします。
- ・既存の各小学校を運営しながら新校舎を建設整備するため、仮設校舎等は必要としないものとします。ただし、部室等を撤去する場合は、代替えを用意する必要があります。
- ・一部地域の通学にはスクールバスの利用を想定しているため、既存のスクールバス車庫は、残すことを前提とします。
- ・統合小学校のプールは、B&G 海洋センターの利用を想定するので、建設はしない。
- ・給食は、敷地内で小中共同の調理場を整備します。福岡中学校の調理場の改築及び他学区への配送も想定する。
- ・曙公園の緑などできる範囲で残しながら、四校の地域の歴史や伝統を継承する。

2) 計画の目標

ア 中学校に隣接した場所に小学校を移転統合する意義と効果を最大限発揮できる計画とする

- ・小学校と中学校が協働・交流しやすく、小中が連携した教育の効果が発揮される校舎配置などの計画とする。
- ・小学生と中学生のゾーニングと動線に配慮した計画とする。
- ・移動を容易にするため、中学校校舎と小学校校舎との連絡通路を検討する。
- ・地域の生涯学習やまちづくりの格としての整備として施設のバリアフリーの整備や地域の避難所として役割を果たした計画とする。

イ 移転統合によって生じる課題に対応した計画とする

- ・小中学生のスクールバスの乗降場と歩行者の動線を分離して安全・安心な計画とする。
- ・屋外運動場は、小学生が中学生と同時に安全に活動できるようエリアは分け、小学校用に中学校グラウンドとは別に 150mトラックと 80m直線走路を含めた整備をする。
- ・小学校低学年の遊び場（遊具広場など）を計画する。
- ・既存の豊かな緑の環境を出来る限り維持・保全を検討する。

ウ 学習・生活環境課題に対応する計画とする

- ・学習成果物、図書、情報メディアなどが身近に掲示・展示され、学習や様々な活動に興味をもって、主体的に取り組める教育環境とする。
- ・小学校における英語やプログラミング教育、ふるさと学習など多様な学習形態、弾力的な集団による活動に対応でき ICT 環境が充実した教育環境とする。
- ・異なる学級や学年の活動の様子が感じられ、学ぶ楽しさが得られる教育環境とする。
- ・特別支援を必要とする児童生徒が 9年間ともに学び、成長し、生活できる環境とする。

エ 建築的な配慮を行う

- ・自然採光、自然通風を確保し、快適に過ごせる環境とする。
- ・屋内外の連続性や周辺住宅地へ配慮した計画とする。
- ・木を活用し、児童の心と体の健康につなげ、児童が温かさを感じさせる空間とする。
- ・工事期間中における中学校の学習・生活に対する影響を少なくする。

3 統合小学校の技術課題と建築計画

次に掲げる本事業のめざす建築計画での技術提案としての留意事項とする。

- ・地域の木材を活用し、児童が育つ木の香る良質な環境に加え、長寿命に対応する施設
- ・児童、教員の視点で考え、学習・生活環境の課題に対応する施設
- ・地域の人々が誇りと愛着の持てる地域に開かれた安心・安全な施設
- ・小・中隣接連携型の長所を最大限に活かし、統合の意義とその効果が発揮できる施設
- ・環境配慮・防犯・ユニバーサルデザインが図られた施設